

保育料、第2子以降の無料化は 答弁 II 平成29年度中の実施に向け取り組む



山崎 きよ 議員

平成28年12月議会では、保育料の第2子以降無料化で「約5200万円の一般財源での負担増が見込まれる。限られた予算の中で、財政面への影響を考慮しながら優先順位を付け、財源を捻出していきたい」旨の答弁だつた。現在、どう考えているか。

池田町長

平成29年度中の実施に向け取り組む。年度当初の予算措置はしていないが、予算執行状況、また平成28年度の決算見込みなどから、財源の確保ができると考

た。これまでの決算の状況から平成29年度以降も第2子以降無料化ができると考えている。これによつて若い世帯が子どもを産み育てやすい環境づくりに取り組める。

給食センターでの 食材の地産地消は

山崎議員

給食センターでの調理が平成31年9月から始まるが、1400食と大量になるため、食材の地産地消が後退するのではないか。

藤岡教育長

現在は、町内や県内の野菜を中心に地元業者や生産者に納品してもらい、およそ50%を県内産でまかなっている。センター稼働後は事前に必要な食材をお知らせし、給食需要を見越して作物を



生産してもらえば、現在同様の使用が可能となり、地域の活性化にもつながる。

山崎議員

減農薬・無農薬・有機野菜の生産を生産者と契約できないか。

藤岡教育長

生産者の協力があつてのことなので、生産者・関係する道の駅・JAとも協議しながら食材提供の可能性を探つていきたい。1400食の食材なので、生産者の全面的な協力がないと、厳しいものがあるのではないかと考える。

藤岡教育長

伊野中央公園は、都市公園法に基づく街区公園であり、近隣の居住者の利用に供する目的で整備されているため、長期間の専属的な占用は考えていない。

伊野幼稚園の時間占用 伊野中央公園の時間占用

山崎議員

周辺住民の理解があればできるのではないか。

藤岡教育長



平和首長会議の 加盟自治体として

山崎議員

平和首長会議に町は平成23年に加盟している。どこまで運動を広げていくか。

池田町長

これまでには「原爆パネル展」への後援として庁舎スペースの貸し出しなどをし始めた。今後は核兵器の廃絶をはじめ、飢餓・貧困・難民・人権・環境などの諸問題に近隣市町村との連携も踏まえ、平和に向けた運動に取り組んでいきたい。